



第1会場●2F第4研修室

■司 会／松本 英俊 長崎県諫早市
谷川 裕子 福岡県教育庁北筑後教育事務所生涯学習室 社会教育主事

1 幼少年教育システムにおける「教育」と「福祉」の融合 10:45～11:10

ー保育所が教育委員会にやってきた!!!ー

山田 晋（鳥取県） 大山町教育委員会 教育長

幼保一元化を推進し、少子化を睨み、保育を進めながら教育プログラムも同時に導入し、財政上の教育と福祉行政を統合できれば、プログラムの総合化が可能になる。将来的に通常の学童保育と様々な形態の幼少年プログラムの統合を果せば総合的な子育て支援行政が実行できる。問題はシステムの不在であり、最大のネックは縦割りの弊害を指摘しながら実際には総合行政の実現ができなかった「連携」論や「融合」論にあるのではなかったか！？

2 まつもと融合教育とジュニア生涯学習 11:10～11:35

「ジュニア生涯学習チャレンジ100単位プラン」

窪園 昭宏（鹿児島市松元地域） まつもとジュニア生涯学習サポート推進委員会 事務局長

平成13年度から松元融合教育を推進。15年度から表記事業を实践。推進組織には松元地区のすべての青少年育成関連機関団体の参画を求め、地域を上げて児童・生徒の生涯学習実践を推進した。工夫の核心は「ジュニア生涯学習手帳」で年間100単位（家庭50単位、地域40単位、学校10単位）の活動実践と修得の認定を目指している。具体的な成果は参加者の意欲の向上、活動成果の数量的体感、指導者との交流の拡大と尊敬心の育成、指導者間の連携の強化、地域連帯感の向上などである。

3 ジャグリング・パフォーマンスを通した学校クラブ活動の創設と地域との連携 11:35～12:00

前津 文啓（変身時の名前：くらうん・ぶんぶん）（沖縄県那覇市） NPO法人なはまちづくりネット

子どもの表現力育成を目指してジャグリングのパフォーマンスを行うサークルが小学校と連携してクラブ活動の中に導入した。活動は現在週1回2時間程度。ジャグリングを通して学校と地域を繋ぐことを目標に地域の祭や学校行事、児童館などに出演して交流を促進している。発表者が所属するNPO法人なはまちづくりネットは公民館運営の一部を委託されている。

4 総括討論 12:00～12:30